

2月10日刊行予定

[完全版]

# 石牟礼道子全詩集

石牟礼道子 (いしむれ・みちこ)

2020年2月10日刊 発行所 石風社  
定価: 本体3500円+税 A5判上製444頁  
ISBN978-4-88344-292-8 C0092

時空を超え、  
生類との境界を超え、  
石牟礼道子の吐息が聴こえる  
[完全版] 全詩集

『はにかみの国 石牟礼道子全詩集』（石風社）を出版したのは、2002年8月である。この『全詩集』は、2003年に芸術選奨文部科学大臣賞を受賞し、第3刷まで刊行した。30篇の作品を収録した170頁の全詩集だったが、その後石牟礼氏が新しい作品を発表するとともに、未発表の初期作品も続々と見いだされた。2018年2月10日に石牟礼氏が亡くなった後も、「石牟礼道子資料保存会」（2014年12月発足）のたゆまぬ努力によって石牟礼氏の遺稿「ノート」が精査され、新たな作品が発掘された。それらは、熊本市で発行されている雑誌「道標」（人間学研究会）や「アルテリ」（アルテリ編集室）誌上に発表されてきた。今回の『[完全版] 石牟礼道子全詩集』は、『はにかみの国 石牟礼道子全詩集』をはじめ、『石牟礼道子全集・不知火 第一巻・第十五巻』（藤原書店）や前記の雑誌に掲載された全ての作品を纏めたもので、117篇を収録する444頁の大冊となった。



作品は、ほぼ制作年代順に並べたが、本全集には、もっとも新しい収録年度のものを収録した。作品によっては、初出のものに著者が手を加えたり、ルビが付されたものもある。「初出一覧」には、その後の収録書籍の変遷も分かるようにしている。

詩を書いているなどといえばなにやら気恥かしい。心の生理が露わになるからだろうか。散文ではそうも思わないのが不思議である。

書いては隠し、隠して来たような気がする。ようなという言い方には何も彼も曖昧にしたい気分がこめられている。やりそこなってばかり生きてきたからと思う。

（「あとがき」より）

\* \* \*

ご注文書 【貴店番線印】	注文	日付	ご担当	ISBN978-4-88344-292-8 C0092
	冊		様	[完全版] 石牟礼道子全詩集 石牟礼道子 (いしむれ・みちこ) 定価: 本体3500円+税
	好評既刊	南風 宮内勝典 (みやうち・かつすけ) 四六判上製191頁 定価1500円+税 978-4-88344-288-1 C0095 日本文学・小説		( ) 冊
取扱	地方小出版流通センター/日販/トーハン/桑谷書店 楽天ブックネットワークス/きんぶん図書 etc.	石風社	福岡市中央区渡辺通2-3-24ダイレイ第5ビル5階 092(714)4838	

【ご注文は石風社 FAX:092 (725) 3440まで】